

磯島だより

第99号

2021年
(令和3年)
12月21日発行

【発行部数】
2,500部

掲載の内容は、特記以外12月1日現在の情報を基に作成しております。

The Isoshima NEWS

【発行元】磯島校区コミュニティ協議会 広報部会

人口統計 2021年12月1日現在。増減は2021年8月1日と比較。

	人口	世帯数	0~14歳	15~64歳	65歳以上
枚方市全体	397,819 (392減)	183,116 (100増)	48,767 (228減)	234,950 (338減)	114,102 (174増)
磯島校区	7,648 (41減)	3,823 (22減)	1,038 (9減)	4,813 (24減)	1,797 (8減)

歩こう会



ゴール地点の淀川アクアシアターにて、参加者全員の記念撮影

主催者挨拶
福祉部会 部長 松尾 久美子

昨年は新型コロナウイルス流行の影響で中止したため、『歩こう会』としては二年ぶりの開催となり、主催者一同緊張して本日の開催に臨みました。

十一月二十一日(日)晩秋の晴天で心地よい天候のもと、久々の地域行事『歩こう会』が開催されました。まだまだコロナ禍から脱したとは言いきれない昨今、感染予防の観点から、午前中でイベントを完結させることになり、例年より集合時刻を早めて開催しました。磯島小学校から淀川河川敷内の木立を通って、アクアシアターまでの約三キロのコースを歩き、参加された方から「コースの途中で木の間を通るところが魅力的でした」「あんなところ歩いたことがなかった」と。二年ぶりの地域行事だっただけに「一人暮らしで普段は話し相手がないけど、

まだコロナ禍から脱していないこともあって、当初は百名程度の申し込みしかないだろうと思いきや、その倍近くの皆様にお申込みいただき、大変感謝しております。本日は天候にも恵まれ、参加した皆様にそれぞれ楽しんでもらえて、本当に良かったと思います。

こうやってみんなの顔が見れてよかった」といった声もありました。地域福祉研究の一環として関西医科大学看護学部の学生二十二名も参加。「『川がきれいですね』とか、地域の方々とお話しながら歩くことができた」「今後こんな交流があれば参加してみたい」と学生さんにも好評だったようです。アクアシアター到着後は靴飛ばしやビンゴなど全員参加型のゲームを行い、弁当を配布して終了。百八十名強の皆様にご参加いただきました。(古川)

主な掲載記事

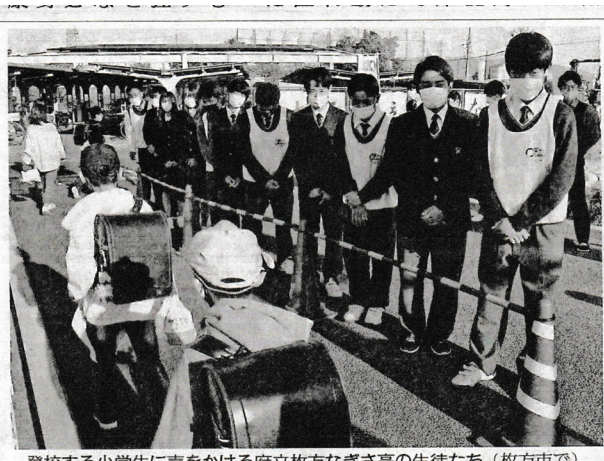
「歩こう会」写真集	2面
磯島校区の人間国宝	3面
読売新聞に掲載されました	4面
高校生・中学生が環境保全を訴える	4面

読売新聞に掲載されました

枚方なぎさ高校あいさつの取り組み



記者から取材を受ける生徒



登校する小学生に声をかける府立枚方なぎさ高の生徒たち(枚方市で)

元気なあいさつ 心育む
枚方なぎさ高生 登校児童らに実践
感謝や努力など「五つの」にあいさつをした。心「を育てる府の」「このころの再生」府民運動の推進月間中を地帯への感謝の思いを込め、より大きな声で挨拶することを生徒たちに推し進め、近頃の小学生らへ

十一月の「このころの再生」府民運動」推進月間に合わせ、枚方なぎさ高校の生徒が校門前で元気よくあいさつ運動を展開いたしました。このうち、十一月四日(木)朝には同校硬式野球部員が参加し、その活動が翌日の読売新聞朝刊に掲載されました。(古川)



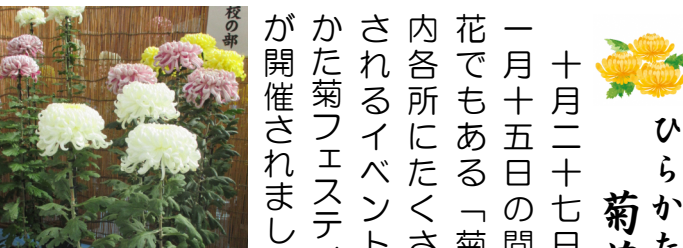
④ 渚西中学校生徒の作品。右の作品が市長賞、左の作品が市議会議長賞を受賞した。⑤ 枚方なぎさ高校美術部作成のポスター。

高校生・中学生が環境保全を訴える

枚方なぎさ高校美術部では、枚方市のプラごみダイエット事業にごみダイエッターとして参加し、生徒がポスターを作成。市内の協賛店舗等でポスターが掲出されています。

また渚西中学校では、生徒が環境ポスターコンクールに作品を応募し、多くの作品が入賞しました。(古川)

あなたも宣言しませんか？
プラごみダイエット
それエコバッグでよくない!?



この日は午前8時頃から硬式野球部員ら約10人がマスク姿で参加。集団で登校する近頃の市立磯島小の児童らに「おはようございます」と元気よく声をかけた。

菊花展
ひらかた
十月二十七日から十一月十五日の間、市内各所にたくさん展示されるイベント『ひらかた菊フェスティバル』が開催されました。

このうち、菊愛好家や市内幼稚園・小中学校で育てた菊などが展示される『ひらかた菊花展』では、十一月五日午前に品評が行われ、学校の部で渚西中学校が「北大阪商工会議所会頭賞」、磯島小学校が「奨励賞」を受賞しました。(古川)

編集後記
夜空の月や星も冴えわたる冬を迎え、日ごとに寒さが身にしみる頃となりました。感染対策をしっかりとしながらはありますが、日々の楽しみも少しずつ取り戻していきたいところですね。プレミアム付商品券を活用し地元を応援するのもいいですね。鍋やおでんの美味しい季節でもあります。しつかり栄養をとって、元気に過ごしましょう!(杉本)

校区福祉委員会の行事予定

◆カブラで遊ぼう(魔法の積み木遊び) ※小学生対象
・12月24日(金) 13時30分~
@磯島小学校体育館
詳しくは福祉委員にご確認ください



好評の河川敷内森林コース。野鳥の鳴き声を聞きながらウォーキングを楽しんでいる。



ラジオ体操後、小学校を出発

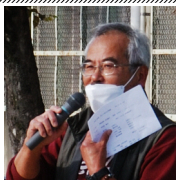
竣工したばかりの関西医大タワーを見ながら歩く



淀川アクアシアター到着後、参加者全員でゲーム大会を開催。写真はじゃんけんゲームの様子。



各年代層に分かれて開催された、靴とばしゲーム。多彩な色の靴が舞う。



「歩こう会」開催に寄せて
磯島校区
コミュニティ協議会 会長
松永 義信

コロナ禍がちよつと落ち着きましたが、一部の報道では『第六波は来る』みたいなことが言われています。さて、『歩こう会』ですが、小

さい子ども・高齢者も参加できるように、距離も短めのコースにしてあります。今後は「健康」という観点から、福祉部会と協議のうえではございますが、年二回開催する方向で検討したく思います。その節は、どうぞ皆様ご参加していただきますよう、お願い申し上げます。



◆参加した記者の目◆

他地区のママ友に誘われて参加しました。コロナ禍においても、この規模のイベントができる状況に安心しました。歩いてゲームしてお土産も沢山いただき、解散後もお弁当を食べて遊んで大満足な一日でした。次回も是非参加したいです。(飛弾)

磯島校区の人間国宝

第一回 東本 隆幸さん(81歳)

「ふれ愛・フリー・スクエア」時代から遡ると、約二十年前「子どもいきいき広場『いそっ子クラブ』」の活動を支え、現在も代表として活躍する東本隆幸さん。成人前の磯小出身者なら『ふれ愛』・『いそっ子』でお馴染みのおじさ

ん」と言えば「あ〜！」って合点がいくのではないのでしょうか？週末の楽しい行事に付き添ってくれる東本さんが、どんなことなされている方なのか、そんな疑問にスポットを当ててみました。

『いそっ子クラブ・H23』の新しい代表者を探しています。地域の子どもの成長を見ながら、ボランティア活動を楽しみたい方、子どもたちと気やすく接するのが好きな方、働きながらでも可能です。ご関心がある方は、各自治会長・町内会長またはコミュニティ協議会役員までお知らせ願います。



紙血飛行機の飛行実演を見て盛り上がる東本さん・田代さん・千葉さん



持ち味の手先の器用さで、子どもたちとふれあう東本さん



次の催しについて主催者さんと打ち合わせをする東本さん

平成十四年度に学校完全週五日制が導入され、当時校区青少年育成指導員だった東本さんは、これらの活動に参画。平成二十三年度より現在の『いそっ子クラブ・H23』に組織改編、代表として今に至ります。

の依頼、児童配布用の行事予定作成、当日実施立会という感じで、現在は概ね月二回の土曜日に開催しています。定期的に行事手配の会議が行われますが、行事を決める際は、低学年から高学年の児童まで全員が参加できるような行事にする必要があります。あまり難しい内容になると低学年の児童がついていけなかったり、逆に簡単すぎ

ると高学年の児童が関心を持たなかったりするのですが、毎回いそっ子担当の委員さんと知恵を絞って企画を考えているそうです。こういった面は、関わって初めて知る大変さかもしれません。しかし、その分やりがいはいは大きく、毎回子どもたちが行事を楽しんでいる姿を見て、「やってみてよかった」と思うことができるのが楽しみだそうです。

◆前告知しました枚方なぎさ高校生徒による研究発表は、原稿締切日程の都合で、次号に掲載させていただくことになりました。

◆東本さんの魅力 新しいものにも積極的に関わり、「スマホを使いたしたがとても早かった」「この世代の方々より常に一歩前を行っていきます」と、いそっ子クラブと一緒に活動している田代さん・千葉さん。今も週に数回、時計修理のお仕事に携わられていることもあり、手先がとても器用。コマ回しなどの昔ながらの遊びにとても長けておられるそうです。地域の児童を長年支えてきた東本さん。長年活躍された功績は偉大かと思えますが、ご高齢なこともあり、三年ほど前から代表としての引き際を模索されているそうです。